

先駆

65.12.25
第 11 号
「先駆」改題
通 号 69号

▷発行所 先駆社
東京都千代田区神
田駿河台3の2東
京ビル内
〒100(251)7213
▷編集発行人 正木
重一
一部 20円
20号分 400円(送料)

全工場の工場、地域学園
に共産主義者同盟支部
結成せよ
共産主義者同盟本部

日韓斗争

その総括

従って、また、本意的
に反米斗争を志向し、
あるには本能的に日韓
会談の本質を察知し、
また、全力をあげて
この斗争を闘いぬぐに
部分の危機意識が深刻
である。

65年初頭以来長期化

闘いの担

諸勢力

後相を呈しはじめたア
メリカのベトナム侵略
への反対斗争をわれわ
れは再度考之てみても
いざなり。北朝鮮
激化と北上軍援助、そ
しよに韓国の系置
と統一の危機意識の拡大
は、日本に於ける戦争
への危機意識を組織し
た大衆的平和運動の高
揚を促した。

アジアナショナリズムの基礎

准実現は国交回復一般
の問題としてしかとり
あげられぬ。このよう
な。それは、まさに
アジアへの出口を開け
たものとして大衆的
民族的精神はつくとめら
れ、従って、この関係を
支配する階級はいつ

に於けるアジアナショ
ナリズムの基礎形成への
橋樑を築きあげよう。
自衛斗争を通じて形
成される支配階級と
は、かかるありとな支
配思想とその基礎を
自力な意思としても
つて支配階級である。

同時、四、一以後
の社会対立からコソ
バ方式となる形での統
一行動への端緒をひら
いてくる。
オース、二の平和運
動は戦後の新水際的平

和運動の中心を二と
闘いを志向してはいること。
それは、原水協指下部
の対立の外部で、戦斗
的意識の闘いが志向さ
れようとして進められ
立ってあり、オースに
の「六、九」指導部が
日韓斗争への連続性を
全く放棄し、社共共斗
が文字通りその形骸と
してのみあつたこと
日韓斗争の最も中心的
な担い手としての活躍
際には、コソバ方式
戦い斗争消滅を総括し
て論ずることには
不可能である。
ベトナム反戦と日韓
斗争とは全く質を異に

する斗争であることは
自明である。だが、
要質性を理由づける
左翼の側にも問題が
ある。後にみるよう
にこの斗争局面を一貫
して貫いたものこそ、
反帝反米斗争への視角
であり、それ故に日
韓反米路線との対決が
明確化した。そして
また、それ故に中立平
和主義、人道的平和主
義の諸部分の大衆斗争
からの脱落が日韓斗争
に於いては明らかにな
る。

外である。
また、昨年佐下内
閣の成立と日韓を結の
権運のひかど、高杉全
権起用によりはる段階は
日本の階級斗争の中
に、ベトナム侵略反対
斗争から日韓斗争への
内容的連続を強ひる反
帝部隊の結集をもつ
て裏付けしていくべき
闘いの局面であった。
わが同盟も含めて、二
の局面を以上の政治斗
争の視角から徹底的に
闘いぬぐことができな
かったことを銘記しな
ければならぬ。
南朝鮮学生斗争は
全面支持すべきが否か
だ、この点もなく、加
かる作業がこれに徹底
的に日本階級斗争の中
で進行していか否か
をめぐりては極端すべ
きである。
(文章材料)

帝国内閣政治の開始に際し、国家主義の旗の下
成列を強化拡大し、革命的な国家主義運動の確立に
るが第一歩をふたせよう。

— 日韓戦争の総括と展望 —

。はじめに

。A. 日本の帝国主义の発展と日韓系約批准

- 一 系約批准の意味と進行する韓国支配
- 二 日韓戦争とこの日韓的意義
- 三 日本帝国主义の力と階級の対立

。B. 支配階級の自己形成と反帝部分の萌芽

Ⅰ. 日韓の諸問題

- 一 支配階級の形成をめぐる
- 二 日韓をにらむ日韓勢力 (以下次号)
- 三 新地帯とわが同盟の手に

Ⅱ. わが同盟関係における日韓

(別稿)

。C. 戦争における基本問題の深化のために

- 一 日韓戦争と日韓政策
- 二 社会政策と理論と革命的統一政策
- 三 市民主義と帝国主义

。D. 日韓の展望と我々の任務。

(以上)